

# 「令和3年度漂着ごみ組成調査(石川県「海辺の漂着物調査」)」への参画

団体名●池田ゼミナール／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに

現在、世界中で海洋ごみ問題が深刻化し、SDGsの視点からもその対応の重要性が指摘されている。我が国においても環境省や海洋関連の各機関、団体等が海洋ごみ、海岸環境等についての施策を実施してきている。石川県においても、行政担当の生活環境部環境部資源循環推進課を中心に石川県事業として「海辺の漂着物調査」を継続実施しており、加えて、2020年度からは、環境省「海岸漂着物等地域対策推進事業」としても拡大実施され、本学池田ゼミナールも羽咋市、羽咋郡市広域圏事務組合、独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立能登青少年交流の家、クリーン・ビーチいしかわ実行委員会と共に協力団体として正式に継続的に連携協働している。

## 活動内容

2021年10月21日(木)、石川県羽咋市「柴垣海岸」において、実施された。スケジュールは以下のとおりである。

時刻	活動名	主催/業務委託会社
8:00	〃	調査時の設置、回収作業用資材搬入
9:30	集合	<集合場所>
	グループ分け(A~E)	受付、検温、手指消毒、健康チェック
9:45	(徒歩移動)	調査前写真撮影 (移動)
10:00	柴垣海岸到着	①主催者挨拶(県・福井資源推進課長) ②金沢星稜大学人間科学部 池田教授挨拶 ③クリーン・ビーチいしかわ事務局長挨拶 ④調査方法(回収作業)の説明
	回収作業開始(エリア①～②)	回収作業の補助 写真撮影・回収不能ごみの記録 全体管理
11:00	回収作業終了	〃
11:10	黒鯛の稚魚放流	回収後スタッドバック積載(トラック)、資材回収
11:30	集合写真の撮影	集合写真撮影
11:45	(徒歩移動)	調査後写真撮影 調査後撤収 資材積込 (車移動)
12:00	昼食 (クインクルはくい3F会議室)	昼食 (クインクルはくい3F 会議室)
12:30		分隊・計測作業の説明
12:45	分隊・計測作業開始	分隊・計測作業の補助/計量写真撮影の補助 作業状況写真撮影 全体管理
15:15	分隊・計測作業終了	計測後のごみの処理・処分
	清掃	清掃
15:30	解散	備品精込、退出

調査内容については、柴垣海岸での昨年度とほぼ同じ場所での定点調査地点において対象とする漂着ごみを回収し、環境省ガイドライン「漂着ごみの分類表」および「言語表記等調査のデータシート」に基

づき分類・計測し、計測結果をデータシートに記入した。また、昨年同様、漂着物(ごみ)調査以外にも、石川県水産総合センター生産部志賀事業所による稚魚放流(クロダイ稚魚約1,000匹)、「海」及び「栽培漁業」についての講話がなされた。



写真 漂着物回収後に分別・測量する学生たちの様子

## 成果、結果の考察

調査結果は、個数、容積、重量のいずれもプラスチックが最多であり、昨年度調査結果と同じ傾向であった。学生たちは、この活動を通して単なる漂着物の回収、調査に留まらず、海岸環境の状態や海洋ごみの地球環境への重大な影響についても実践的に学び、次世代人材育成も含め環境教育推進にも大きく役立っている。

## 今後の課題、展望

まず、活動の継続、そしてその拡大が必要であり、海岸環境全県的組織の「クリーン・ビーチいしかわ」とも連携強化し、より多くの地域環境団体や他大学、専門学校、そして地元の小、中、高校生の協働参画が望まれる。そのため、活動情報の発信や協働への仕組みについての検討が必要である。